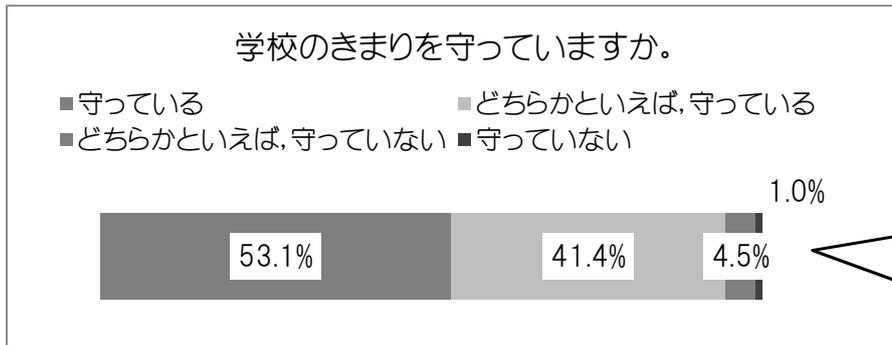


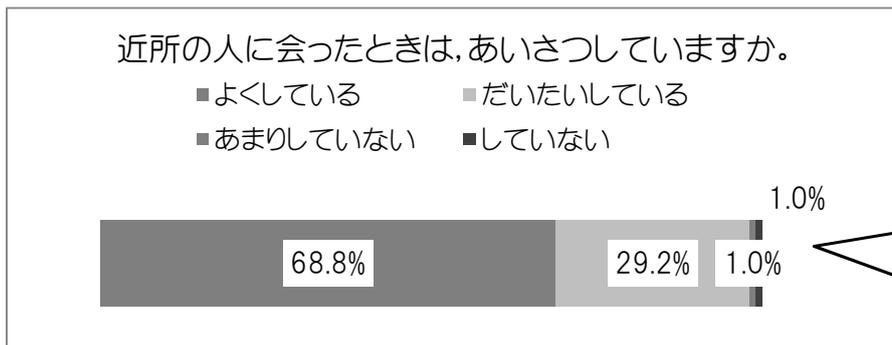
平成28年度 後期 学校評価アンケート

1年間、本校の学校教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございました。3月上旬に、後期を振り返って、保護者に学校評価アンケートにご協力いただきました。今回は、高学年のジョイントプログラムでの振り返りアンケートと共に掲載し、子どもたちの現状と課題について考えていきたいと思ひます。

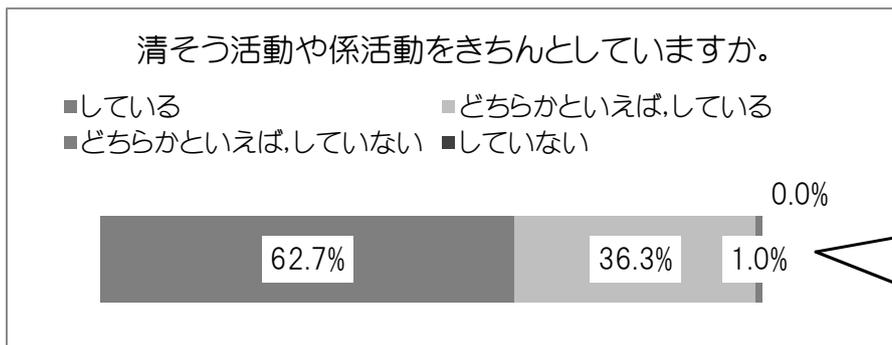
高学年 1月ジョイントプログラム 振り返りアンケートより



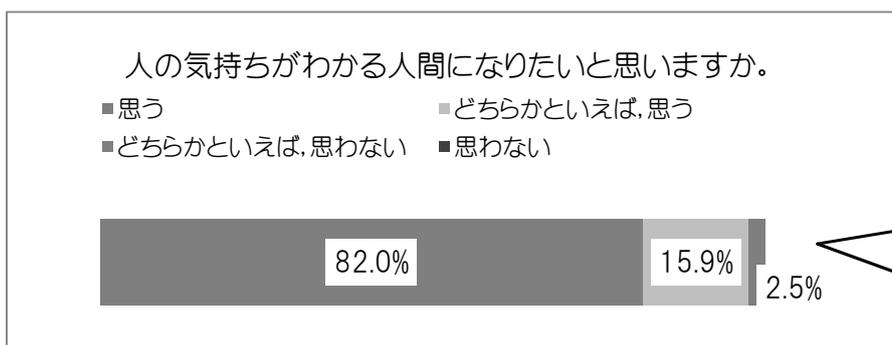
「守っている」「どちらかといえば守っている」と答えた児童の割合は94.5%で、全市の平均は93.4%とほぼ同じ結果でした。
下京中ブロックでは、生活のきまりとして、統一したきまりがあります。中学校に進学してからも、規範意識をもって生活できることを期待したいです。



「している」「だいたいしている」の割合は、90.7%で、大幅に上回っています。保護者アンケートの結果とは、開きがあります。
校内では、元気にあいさつできている児童が、登校中は元気がなかったりと、場面や相手が異なると大きな声であいさつできていないこともあるようです。



「している」「どちらかといえば、している」の割合が全市平均では、92.7%で、大幅に上回っています。自分の役割を果たそうとしている姿がみえます。
校内でも、そうじの時間は、階段や床をすみずみまでぞうきんがける姿がみられます。各クラスの係活動や当番活動の役割をきちんと果たすよう今後も指導していきます。

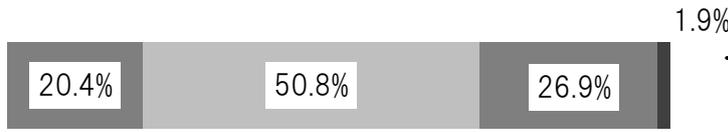


「思う」「どちらかといえば、思う」の割合が全市平均では、95%とほぼ同じ結果でした。今後も、道徳教育や日々の学級経営の中で、人を大切にするという人権意識を育てられるような授業や指導を行っていきます。一方、「思わない」と答えている児童がいることも事実です。信頼関係を作っていけるよう指導していきます。

平成28年度後期 学校評価アンケート (保護者)

子どもは自分から気持ちのよい挨拶をしていますか。

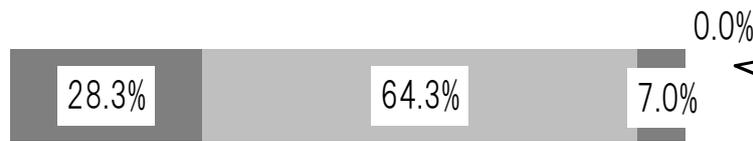
- よくできている
- あまりできていない
- だいたいできている
- できていない



児童のアンケートの結果と開きがあった項目です。校内では、元気な挨拶をしています。校外では登校中の挨拶などは、元気がなく下を向いたり、大きな声が出ない児童も少なくありません。気持ちのよい挨拶とは、どのようなものか、「大きな声で」「相手を見て」「笑顔で」といった具体的な指導をしていく必要があります。

自分や人を大切にする気持ちや態度が育っていますか。

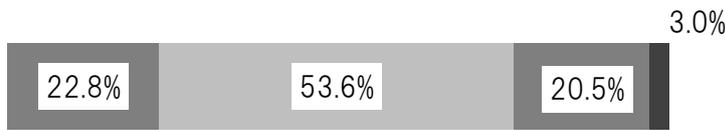
- よくできている
- あまりできていない
- だいたいできている
- できていない



自分や人を大切にする気持ちは、人権意識の基になるものです。まず、子どもをとりまく環境を作っている大人が、人を大切にできているか振り返ることも大切です。子どもが友だちとけんかしたとき、いじわるなことをしたとき、されたとき、どんなアドバイスをしているでしょうか。自分も相手も大切にできる解決方法が考えられる人に育てていきたいです。

家庭での学習習慣が身についていますか。

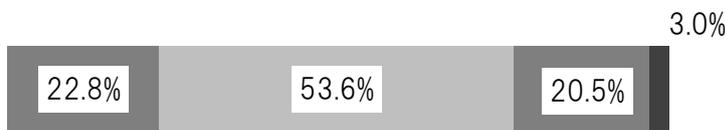
- よくできている
- あまりできていない
- だいたいできている
- できていない



質問項目はやや異なりますが、全国学力・学習状況調査では、「家で学校の授業の復習をしていますか」の問いに対して、していると答えた児童の割合は全国平均55.3%でした。高学年になったら、学校から出た宿題だけでなく、自分でわからなかったところを復習する自学自習の習慣をつけられるような指導が必要です。

子どもにも、家族の役割分担をさせている。

- よくやっている
- あまりやっていない
- だいたいやっている
- 全くやっていない



家族の役割分担として、毎日決まったものがあるでしょうか。「手伝って」と声をかけた時だけのお手伝いではなく、役割として毎日または毎週など、継続して行えるような「仕事」を子どもたちに経験させることが大切です。学校でも家庭でも、できたときには、「よくできたね。ありがとう。」の声かけを忘れずしたいものです。キャリア教育の一環としても、役割を果たすことの充実感を子どもの間にもたせることが重要とされています。

今年度も、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校全体としては、ここ3年ほど大きな数値の変化はなく、子どもたちの学校生活も大変落ち着いています。一方で、結果から見えてくる子どもたちの実態や、保護者の学校への関心や意識について、数字から見えてくるものだけでなく、「できていない」「していない」と答えている児童や家庭への個別の働きかけが今後も大切であると考えています。落ち着いた状況であるからこそ、さらに一人一人の学習状況や生活背景をふまえて、細かで丁寧な指導を継続していきます。今後も、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。